

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：警察費 項：警察活動費 目：交通指導取締費

事業名 地域警察活動費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 地域部 地域課 電話番号：058-271-2424 (内 3571)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 13,993 千円 (前年度予算額：14,830 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	14,830	3,864	0	0	0	0	0	0	10,966
要求額	13,993	3,684	0	0	0	0	0	0	10,309
決定額	13,993	3,684	0	0	0	0	0	0	10,309

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県下の交番・駐在所等に勤務する地域警察官は、管内においてパトロール活動を実施するとともに、全ての事件・事故に対して初動的対応を行っている。鉄道警察隊は、列車警乗により利用者の安全確保に努めている。これら各種地域警察活動は、県民に最も身近な活動であり、安全・安心を確保するためにも執行力の向上は必須である。

(2) 事業内容

- ・各警察署の地域警察官によるパトロール活動や事件・事故での初動活動等に必要となる資機材を整備する。
- ・鉄道警察隊の効果的活動により、鉄道利用者の安全確保を図る。
- ・交番相談員の運用により空き交番対策を推進する。
- ・ミニ広報紙の作成など地域住民への各種情報発信活動を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県民に身近な活動を行う地域警察に要する負担であること、また、国庫補助対象事業については他の対象事業と同様の割合で国庫を充当しており、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	2,585	地域警察活動用
需用費	10,245	地域警察活動及び鉄道警察隊活動用事務費、交番相談員用被服費、修繕料
役務費	429	防犯カメラ移設費
委託料	523	小型船舶操縦士免許取得業務の委託
その他	211	職務質問研修用寝具借上、公衆救済費
合計	13,993	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ-2-(2)-③ 犯罪・交通事故防止の推進

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 各警察署の地域警察官や交番相談員が、交番・駐在所において地域住民の安心・安全を守る。また、犯罪発生時には、初動警察活動の中心となって業務に当たる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
交番相談員の人数	(H)	117人 (H29)	115人 (H30)	115人 (R元)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

安心・安全の度合いを指数として目標値設定できず、また、各警察署の地域警察官の活動に関する事業であるから、目標を設定することは困難である。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 若手警察官の早期戦力化、指導者の育成による地域警察官のレベルアップ、職務質問技能の向上と定着化を目的に、平成30年4月に「岐阜県警察地域総合指導センター」を設置し、地域警察官に対する指導、教養を実施した。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 若手の現場執行力の向上や職務質問技能の向上により、県民に身近な犯罪の検挙が見込まれる。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	県民の要望を直接聞き、県民に身近な街頭犯罪を検挙する地域警察活動は、必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	地域に密着した地域警察活動を行うため、交番・駐在所における活動は、県民の体感治安を高めるために有効である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	交番相談員が来訪者の応対等に当たることによって、交番の警察官がパトロール、巡回連絡、事件対応等の街頭活動に専念できる体制をつくるなど、業務の効率化に努めている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 地域警察官がより所外活動に従事できるよう、体制を強化する必要がある。また、若手警察官の職務質問技能の向上を図る必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 地域警察官の地域に密着した活動、県民に身近な犯罪に対する検挙活動を通じて、県民の安全・安心を守り、体感治安を高めていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	